

県内企業の景況意識調査

(第190回)

- * 2024年 7～9月期〈Ⅲ期〉の実績見込み
- * 2024年 10～12月期〈Ⅳ期〉の見通し

3期ぶりの改善

今期（2024年7～9月期〈Ⅲ期〉）の業況判断BSIは、前期比2.7ポイント上昇の▲8.5となった。業種別のBSIは『建設業』『卸・小売業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』の5業種で改善、『製造業』で悪化した。

今期の業況判断BSIは、観光関連の回復によりサービス業が改善したほか、運輸業の一部で業況が改善しており、3期ぶりの改善となった。

来期（2024年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、今期比0.6ポイント上昇の▲7.9となる見通し。業種別のBSIは『製造業』『卸・小売業』の2業種で改善、『建設業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』の4業種で悪化の見通しである。

来期は、住宅着工件数の低迷等により建設業が悪化する見込みだが、製造業では新商品販売による需要の増加を期待する企業もみられ、全体としては小幅ながら改善する見通し。

* 2024年 7～9月期〈Ⅲ期〉の実績見込み

- 製造業……………3期連続の悪化
- 卸・小売業……………卸売業は改善、小売業はやや悪化
- 建設業……………4期連続のマイナス水準
- サービス業……………6期連続のプラス水準

3期ぶりの改善

◎業況判断

【今期】(2024年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲ 8.5 (前期比+ 2.7㊦)

<内訳>

- ・よくなった 11.5% (前期比+ 0.8㊦)
- ・悪くなった 20.0% (前期比▲ 1.9㊦)
- ・変わらない 68.5% (前期比+ 1.0㊦)

<業種別>

- ・前期比改善：5業種 (『建設業』『卸・小売業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』)
- ・前期比悪化：1業種 (『製造業』)

今期の業況判断BSIは、観光関連の回復によりサービス業が改善したほか、運輸業の一部で業況が改善しており、3期ぶりの改善となった。

来期は、住宅着工件数の低迷等により建設業が悪化する見込みだが、製造業では新商品販売による需要の増加を期待する企業もみられ、全体としては小幅ながら改善する見通し。

【来期】(2024年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲ 7.9 (今期比+ 0.6㊦)

<内訳>

- ・よくなる 13.3% (今期比+ 1.8㊦)
- ・悪くなる 21.2% (今期比+ 1.2㊦)
- ・変わらない 65.5% (今期比▲ 3.0㊦)

<業種別>

- ・今期比改善：2業種 (『製造業』『卸・小売業』)
- ・今期比悪化：4業種 (『建設業』『運輸業』『金融・不動産業』『サービス業』)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+ 1.8 (前期比+13.2㊦)

6業種で改善

収益BSI：▲14.5 (前期比+ 3.3㊦)

5業種で改善

【来期】

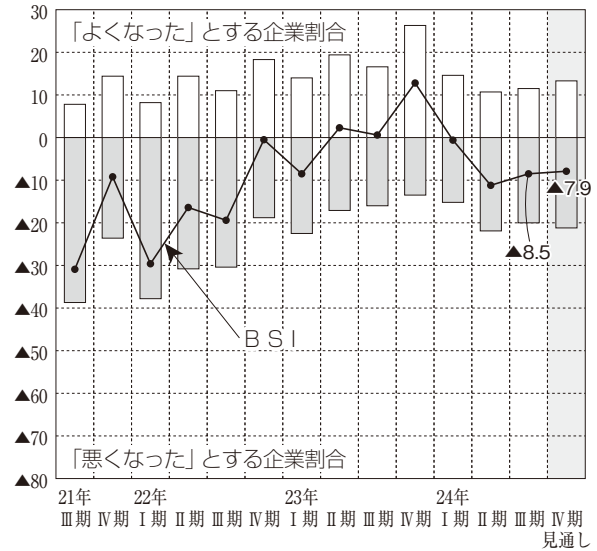
売上高BSI：± 0.0 (今期比▲ 1.8㊦)

3業種で悪化見通し

収益BSI：▲12.2 (今期比+ 2.3㊦)

4業種で改善見通し

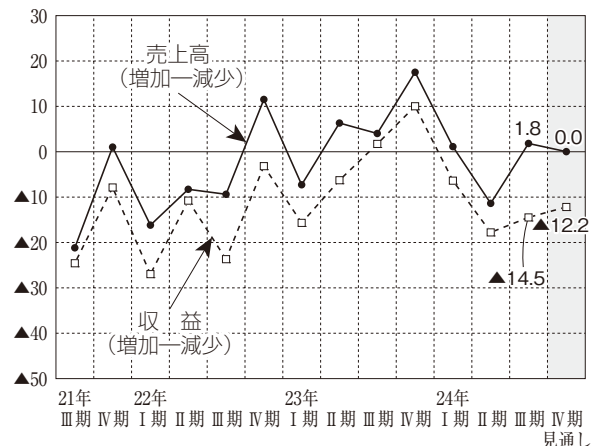
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2024年 Ⅰ期	2024年 Ⅱ期	2024年 Ⅲ期	2024年 Ⅳ期見通し
建設業	▲ 8.3	▲12.0	▲10.5	▲21.1
製造業	▲ 7.3	▲11.8	▲20.3	▲ 5.6
卸・小売業	0.0	▲24.3	▲21.9	▲19.5
金融・不動産業	0.0	20.0	40.0	0.0
運輸業	7.2	▲20.0	15.4	0.0
サービス業	12.9	3.2	12.5	6.2
全産業	▲ 0.6	▲11.2	▲ 8.5	▲ 7.9

売上高と収益 (B S I)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 9.3 (前期比 + 2.8%)
3業種で上昇

雇用者数の現状 B S I : ▲ 37.0 (前期比 + 2.2%)
3業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 3.1 (今期比 + 6.2%)

◎経営上の問題点

- 1位: 「売上不振」(28.8%)
- 2位: 「人手不足」(21.2%)
- 3位: 「原材料仕入価格高騰」(20.5%)
- 4位: 「人材不足」(10.9%)
- 5位: 「競争激化」「人件費増」(5.1%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『製造業』が45.1%と特に高い。「人手不足」は『運輸業』で69.2%と最も高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 42.4% (前期比 + 3.9%)
3業種で上昇

<投資目的>

- 1位: 「補修・更新」(69.1%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(14.7%)
- 3位: 「合理化・省力化」(10.3%)

【来期】

実施予定企業の割合: 41.2% (今期比 ▲ 1.2%)
2業種で低下見通し

<投資目的>

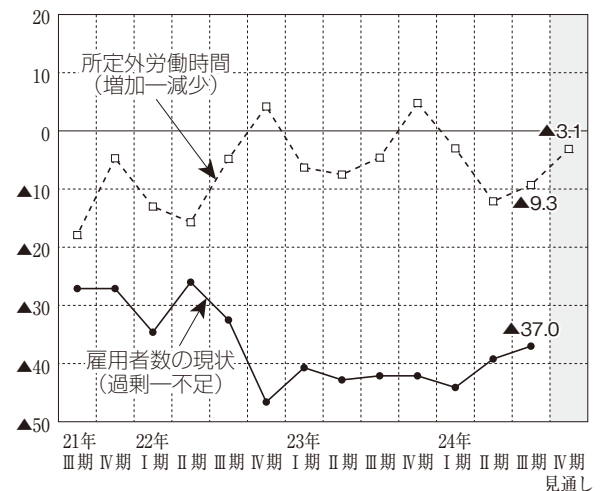
- 1位: 「補修・更新」(71.6%)
- 2位: 「合理化・省力化」(10.4%)
- 3位: 「生産能力の拡大・売上増加」(9.0%)

◎「物流の2024年問題」について

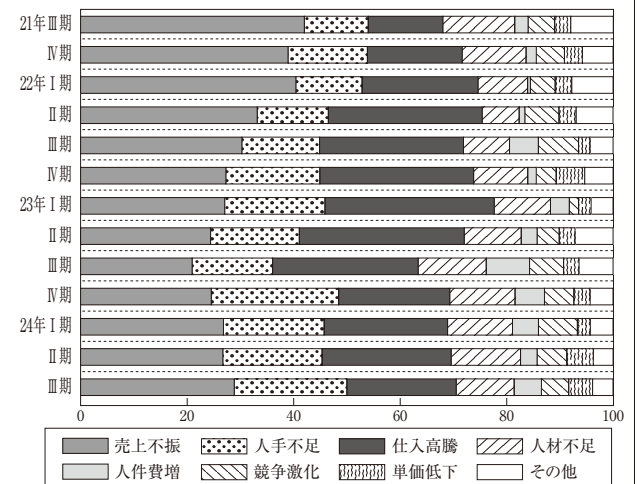
今回の調査において、「物流の2024年問題」について尋ねたところ、「大きなプラスの影響がある」が0.6%、「ややプラスの影響がある」が3.0%、「影響はない」が27.9%、「ややマイナスの影響がある」が46.7%、「大きなマイナスの影響がある」が8.5%となった。

業種別にみると、「ややマイナスの影響がある」と回答した割合は『運輸業』が53.8%と最も高く、次いで『建設業』が52.6%、『製造業』が51.9%となった。

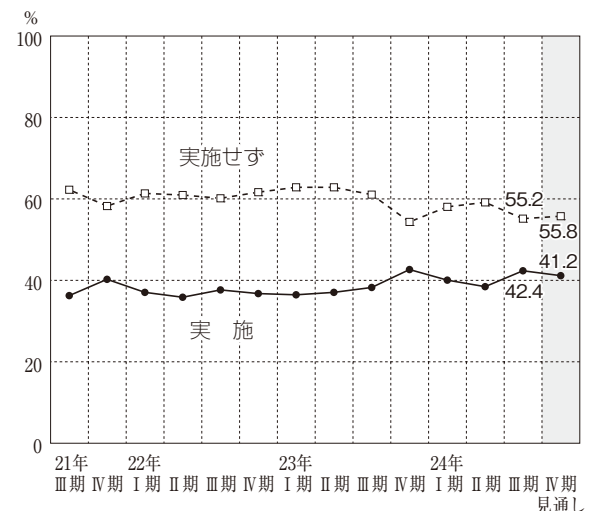
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



3期連続の悪化

◎業況判断

【今期】(2024年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲20.3 (前期比▲ 8.5㊦)

<内訳>

- ・よくなった 9.3% (前期比▲ 2.6㊦)
- ・悪くなった 29.6% (前期比+ 5.9㊦)
- ・変わらない 61.1% (前期比▲ 3.3㊦)

<業種別>

- ・前期比改善：2業種 (「鉄・非鉄金属」
「窯業・土石」)
- ・前期比悪化：4業種 (「化学・石油」「機械」
「食料品」「印刷・出版」)
- ・前期比不変：2業種 (「木材・家具」「その他」)

値上げによる買い控え等により「食料品」が悪化したほか、「石油・化学」では海外景気悪化の影響から低調に推移しており、全体の業況判断BSIも3期連続で悪化した。

【来期】(2024年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲ 5.6 (今期比+ 14.7㊦)

<内訳>

- ・よくなる 14.8% (今期比+ 5.5㊦)
- ・悪くなる 20.4% (今期比▲ 9.2㊦)
- ・変わらない 64.8% (今期比+ 3.7㊦)

<業種別>

- ・今期比改善：4業種 (「鉄・非鉄金属」「機械」
「木材・家具」「印刷・出版」)
- ・今期比不変：4業種 (「化学・石油」「食料品」
「窯業・土石」「その他」)

「食料品」の一部に新商品販売による需要の増加を見込む企業があり、全体の業況判断BSIも改善する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 1.9 (前期比+ 4.9㊦)

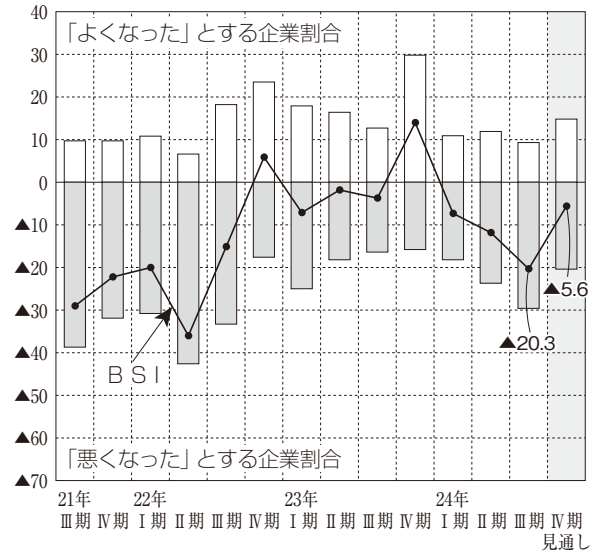
収益BSI：▲20.4 (前期比▲ 8.5㊦)

【来期】

売上高BSI：▲ 1.8 (今期比+ 0.1㊦)

収益BSI：▲16.7 (今期比+ 3.7㊦)

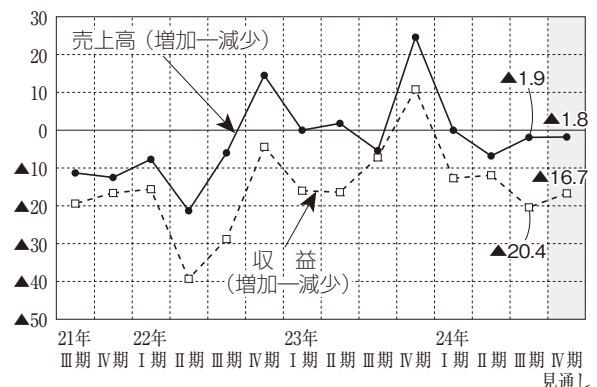
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2024年 Ⅰ期	2024年 Ⅱ期	2024年 Ⅲ期	2024年 Ⅳ期見通し
化学・石油	▲22.2	▲12.5	▲25.0	▲25.0
鉄・非鉄金属	50.0	▲33.3	▲20.0	20.0
機 械	▲17.6	▲13.7	▲20.0	▲ 6.7
食 料 品	18.2	16.7	0.0	0.0
木材・家具	▲33.3	▲66.7	▲66.7	▲16.7
印刷・出版	▲25.0	0.0	▲25.0	0.0
窯業・土石	0.0	▲33.3	0.0	0.0
そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
製 造 業	▲ 7.3	▲11.8	▲20.3	▲ 5.6

売上高と収益 (B S I)



卸売業は改善、小売業はやや悪化

◎業況判断

【今期】(2024年7～9月期〈Ⅲ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲15.8 (前期比+ 6.4㊦)

<内訳>

- ・よくなった 5.3% (前期比▲ 5.8㊦)
- ・悪くなった 21.1% (前期比▲12.2㊦)
- ・変わらない 73.7% (前期比+18.1㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲27.3 (前期比▲ 1.0㊦)

<内訳>

- ・よくなった 4.5% (前期比▲ 0.8㊦)
- ・悪くなった 31.8% (前期比+ 0.2㊦)
- ・変わらない 63.6% (前期比+ 0.4㊦)

卸売業は売上高BSIが大幅に改善、収益BSIも改善し、業況判断BSIが改善した。情報システムを扱う企業からは、DX推進が追い風となり販売が堅調という声があった。

【来期】(2024年10～12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲10.6 (今期比+ 5.2㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲27.3 (今期比± 0.0㊦)

業況判断BSIは卸売業では改善、小売業では不変の見通し。自動車販売業では、日銀の利上げが家計へ与える影響を懸念する企業が見られた。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲ 5.2 (前期比+18.3㊦)

収益BSI : ▲26.3 (前期比+ 3.1㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲10.5 (今期比▲ 5.3㊦)

収益BSI : ▲10.5 (今期比+15.8㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ± 0.0 (前期比+15.7㊦)

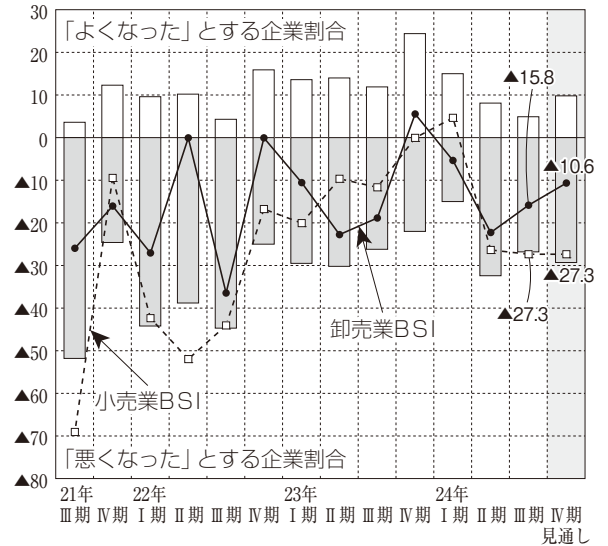
収益BSI : ▲27.3 (前期比+ 4.2㊦)

【来期】

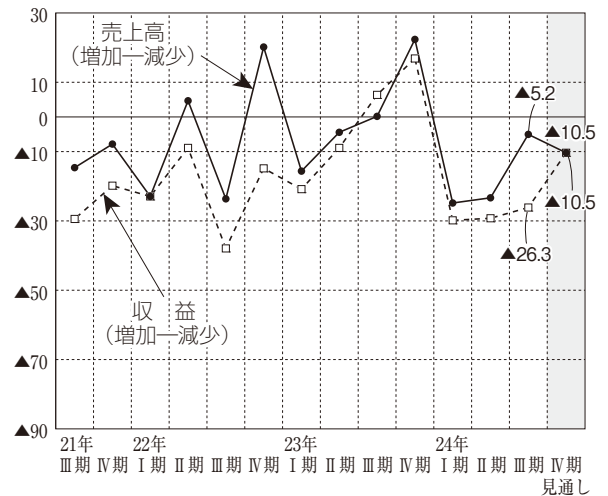
売上高BSI : ▲ 9.1 (今期比▲ 9.1㊦)

収益BSI : ▲31.8 (今期比▲ 4.5㊦)

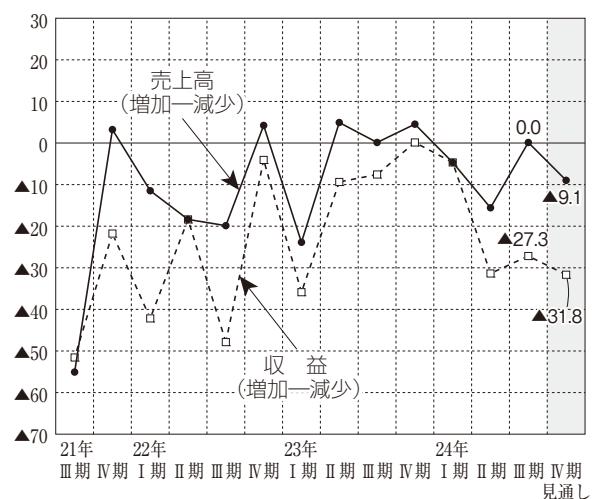
業況判断 (B S I)



〔卸売業〕 売上高と収益 (B S I)



〔小売業〕 売上高と収益 (B S I)



4期連続のマイナス水準

◎業況判断

【今期】(2024年7~9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI : ▲10.5 (前期比+ 1.5㊦)

<内訳>

- ・よくなった 0.0% (前期比± 0.0㊦)
- ・悪くなった 10.5% (前期比▲ 1.5㊦)
- ・変わらない 89.5% (前期比+ 1.5㊦)

「よくなった」と回答した企業はなく、業況判断BSIは4期連続でマイナス水準となった。経営上の課題として、人手不足や仕入価格高騰を挙げる企業が多かった。

【来期】(2024年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI : ▲21.1 (今期比▲10.6㊦)

<内訳>

- ・よくなる 0.0% (今期比± 0.0㊦)
- ・悪くなる 21.1% (今期比+10.6㊦)
- ・変わらない 78.9% (今期比▲10.6㊦)

来期の業況判断BSIは、今期に続きマイナス水準となる見通しである。資材価格の高騰や住宅需要の減少から受注減を見込む事業者が多くみられた。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲15.8 (前期比+20.2㊦)

収益BSI : ▲26.3 (前期比+13.7㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲ 5.5 (今期比+10.3㊦)

収益BSI : ▲16.6 (今期比+ 9.7㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI : ▲26.3 (前期比+ 5.7㊦)

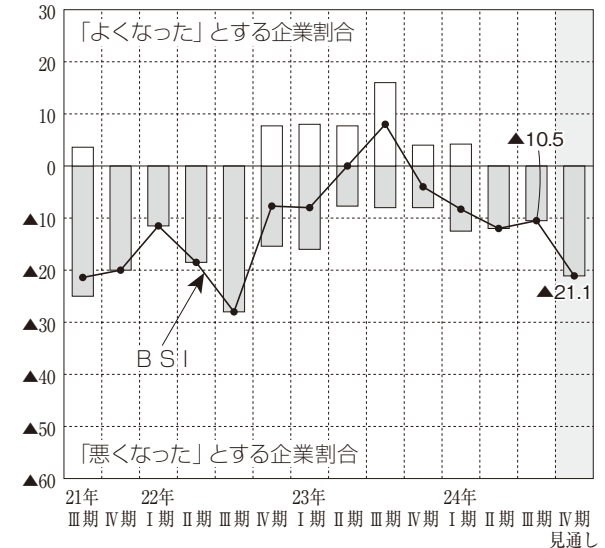
雇用者数の現状BSI : ▲78.9 (前期比▲14.9㊦)

【来期】

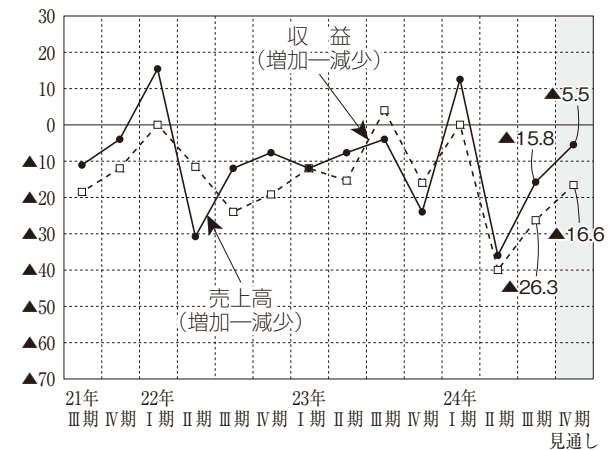
所定外労働時間BSI : ▲11.1 (今期比+15.2㊦)

雇用者数の現状BSIは、比較可能な1992年Ⅲ期以降で最低となり、事業者の人手不足感が強まっている。

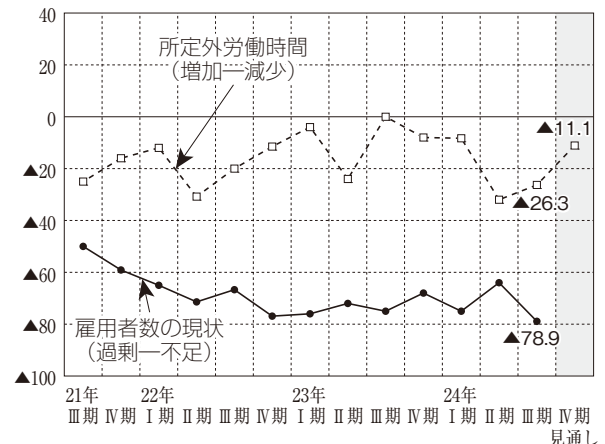
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



6期連続のプラス水準

◎業況判断

【今期】(2024年7~9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI: +12.5 (前期比+ 9.3%)

<内訳>

- ・よくなった 21.9% (前期比+ 3.1%)
- ・悪くなった 9.4% (前期比▲ 6.2%)
- ・変わらない 68.8% (前期比+ 3.2%)

観光関連では、旺盛なインバウンド需要によって好況を維持する企業が多く、全体でも6期連続のプラス水準となった。経営上の課題として、人手不足と人材不足を挙げた企業の合計が半数を占めた。

サービス業のうち観光関連の17社では、「よくなった」と回答した企業は前期比8.6ポイント増の35.3%、「悪くなった」と回答した企業は14.9ポイント減の11.8%となった。

観光関連以外の15社では、「よくなった」と回答した企業は6.7%、「悪くなった」と回答した企業は6.7%だった。

【来期】(2024年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI: + 6.2 (今期比▲ 6.3%)

<内訳>

- ・よくなる 25.0% (今期比+ 3.1%)
- ・悪くなる 18.8% (今期比+ 9.4%)
- ・変わらない 56.3% (今期比▲12.5%)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI: + 9.3 (前期比+ 3.0%)

収益BSI: ± 0.0 (前期比+ 6.2%)

【来期】

売上高BSI: +12.5 (今期比+ 3.2%)

収益BSI: + 6.2 (今期比+ 6.2%)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

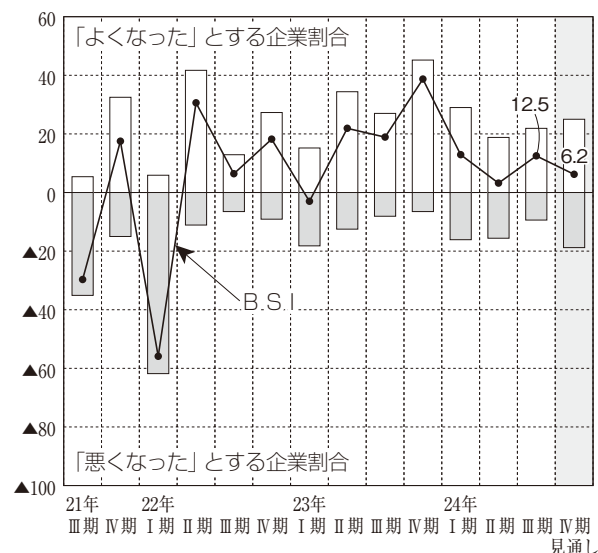
所定外労働時間BSI: + 3.2 (前期比▲ 3.3%)

雇用者数の現状BSI: ▲58.1 (前期比▲16.2%)

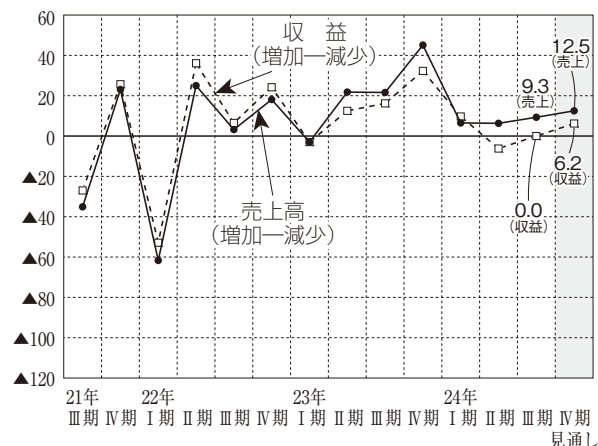
【来期】

所定外労働時間BSI: + 3.2 (今期比± 0.0%)

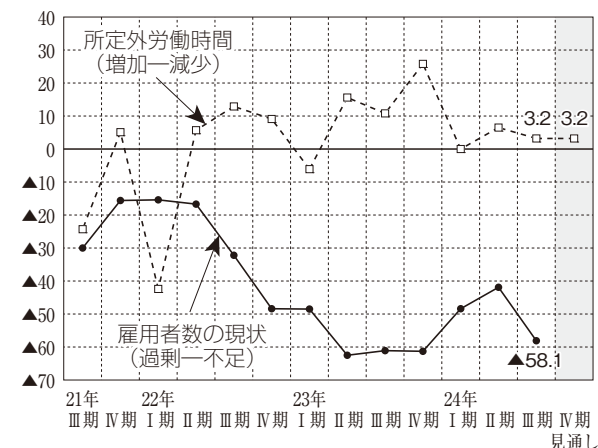
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2024年8月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業419社

◎回答企業数 165社

・回答率 39.4%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	7.9%
資本金1千万円～1億円未満	58.8%
資本金1億円以上	18.2%
無回答	15.2%